

市民センター館長 様

環境局環境監視長 松岡 靖史

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）運営マニュアルの作成と
施設開放時の利用人数の把握について（お願い）

改正気候変動適応法（平成三十年法律第五十号）に基づく、市民センターのクーリングシェルターへの指定につきまして、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度、クーリングシェルターの運営マニュアルを作成いたしました。配布させていただきますので、ご活用 of のほどよろしくお願いいたします。

また、クーリングシェルターの開放日におかれましては、今後のクーリングシェルターの指定・運用等の参考とさせていただくため、大まかな利用人数の把握をお願いいたします。

記

1 配布物 クーリングシェルター運営マニュアル（本編・概要版）

2 依頼事項

クーリングシェルターの開放日に、避難目的で施設を訪問した大まかな市民等の人数の把握と各区コミュニティ支援課への報告

※各市民センターにおいて「クーリングシェルター利用人数調査票」を作成いただき、クーリングシェルター開放日から 5 日以内をめどに各区コミュニティ支援課までご提出をお願いします。

＜留意事項＞ ※マニュアルにも同様の内容を記載しております

- ・ クーリングシェルター利用者と通常の施設利用者を正確に見分けることが困難であることから、おおよその規模感の把握が目的です。そのため、クーリングシェルター利用者と思われる方について、カウントをお願いします
- ・ 具体的には、予め想定している受け入れスペース（市民ホール等）の滞在者数を可能な範囲でカウントください（厳密に暑熱避難目的かどうかは問いません）
- ・ 避難目的ではない方（クラブ等の貸室の利用者がその利用前後に市民ホールを利用した場合等）については、人数のカウントは不要です
- ・ また、空き部屋を開放いただいた場合は、その利用者数もカウントください
- ・ 仮に、施設の利用状況が逼迫し、受け入れをお断りすることがあれば、その人数についても、併せてカウントをお願いします。
- ・ クーリングシェルターの利用人数は、全施設の集計値を結果として活用させていただくため、個別施設ごとの利用人数を単独で取り扱うことはありません

＜参考＞クーリングシェルターとしての施設開放日

- ・ 国による福岡県への熱中症特別警戒アラートの対象日
- ・ 市内唯一の観測地点である「八幡」の暑さ指数の予測値が 35 以上となる日

【問合せ先】

環境局環境監視課大気係
担当：椰原（なぎはら）、岡山、岡田
Tel：093-582-2290

クーリングシェルター利用人数調査票

◆ 施設名：_____

◆ 施設開放日：_____

◆ 施設利用人数：_____名

◆ 受け入れをお断りした人数：_____名

<メモ欄>

利用人数	受け入れをお断りした人数

<概要>

- 施設利用人数の大まかな概数を把握することが目的です
(正確な人数を把握するものではありません)
- クーリングシェルター利用者と思われる方について、幅広くカウントをお願いします
- 利用人数については、全施設集計後の合計値を把握結果として活用させていただくため、個別施設ごとの利用人数を単独で取り扱うことはありません
- クーリングシェルター開放日から5日以内をめぐに、コミュニティ支援課までご提出をお願いします

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）運営マニュアル（概要版）

市民センターに対応をお願いしたいこと

1 クーリングシェルター開放日における市民等の受け入れ対応

- 施設に来訪した市民等を、各施設にて予め想定している、市民ホール等の受け入れスペースにご案内下さい。（通常の施設利用者は除く）
- 受け入れスペースには予め椅子をご用意いただき、適宜、市民等に利用のご案内をお願いします。
- 受け入れスペースが混み合う場合などにおいては、当日の施設の利用状況に応じて空き部屋を開放するなど、柔軟な対応をお願いします。
- 水分補給に必要な飲料水等は、原則ご自身で用意いただくよう予め周知しておりますが、市民等が水分の提供を求める場合には、お手数ですが、備え付けのウォータークーラーや給水栓を使用し、水分のご提供をお願いします。
（ご希望の方はマイカップ、マイボトルを持参するよう予め周知しております）

2 利用状況の把握

クーリングシェルターに関する今後の指定・運用等の参考とさせていただくため、避難目的で施設を訪問したと想定される大まかな市民等の人数把握について、以下の手順にてご協力をお願いします。

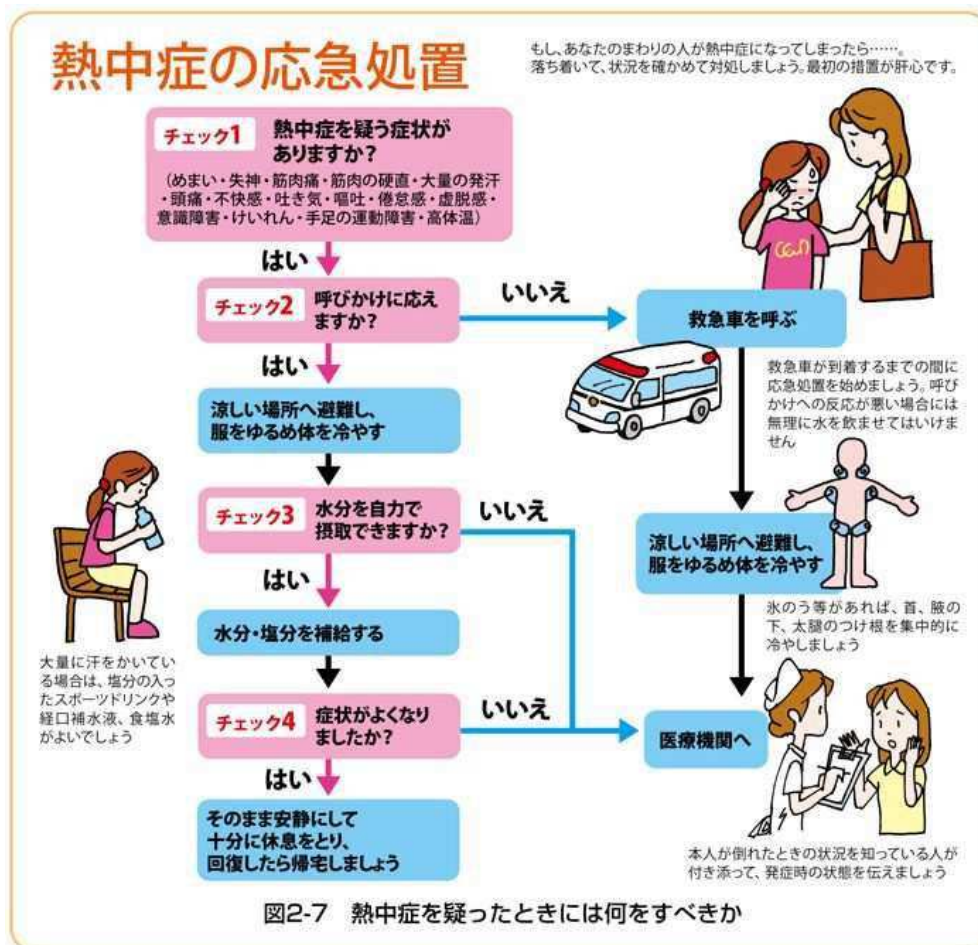
- クーリングシェルター利用者と通常の施設利用者を正確に見分けることが困難であることから、おおよその規模感の把握が目的です。そのため、クーリングシェルター利用者と思われる方について、幅広くカウントをお願いします
- 具体的には、予め想定している受け入れスペース（市民ホール等）の滞在者数を可能な範囲でカウントください（厳密に暑熱避難目的かどうかは問いません）
- また、空き部屋を開放いただいた場合は、その利用者数もカウントください
- 仮に、施設の利用状況が逼迫し、受け入れをお断りすることがあれば、その人数についても、併せてカウントをお願いします。
- クーリングシェルターの利用人数は、全施設の集計値を結果として活用させていただくため、個別施設ごとの利用人数を単独で取り扱うことはありません
- 利用人数については、クーリングシェルター開放日から 1 週間以内をめぐりに各区単位で取りまとめのうえ、環境監視課までご報告をお願いします。

3 体調不良者への対応

来訪された市民等に対して、上記以外には、特段対応が必要な事項はありませんが、体調不良等が見られる方には、適宜声かけをお願いします。

その際に、声かけに反応がない場合や、市民等からの要請がある場合には、平時の緊急事態と同様に、救急へご連絡をお願いします。

<参考> 熱中症の応急処置（フロー図）



出典：環境省「熱中症環境保健マニュアル2018」p.24

4 市民等からの問合せ対応

市民等からクーリングシェルの混雑状況等に関する問合せがある場合には、各施設で対応をお願いします。それ以外の熱中症に関する問合せがある場合には、以下のとおり各担当課にて対応いたしますので、問合せ内容に応じて、以下の担当課をご紹介します。

問い合わせ事項	担当課	電話番号
熱中症予防行動、健康相談	保健福祉局健康推進課	093-582-2018 093-331-1888（門司区） 093-582-3440（小倉北区） 093-951-4125（小倉南区）
	各区役所保健福祉課	093-761-5327（若松区） 093-671-6881（八幡東区） 093-642-1444（八幡西区） 093-871-2331（戸畑区）
熱中症等による体調不良者の救急搬送	消防局（救急）	119 番
それ以外の問合せ	環境局環境監視課	093-582-2290

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）運営マニュアル

1 目的

令和6年4月から施行された改正気候変動適応法において、より深刻な健康被害が発生し得る場合に備えて、既存の熱中症警戒アラートの一段上の「熱中症特別警戒アラート」が新設され、運用が開始されました。また、熱中症特別警戒アラートの対象日には、過去に例のない危険な暑さとなると想定されることから、市民が暑さから避難するための施設である、指定暑熱避難施設（以下、「クーリングシェルター」という。）を開放する制度も新たに開始されました。

北九州市では、市民センターをはじめとする計 162 施設をクーリングシェルターに指定しており、熱中症特別警戒アラートの対象日には、市民等の施設への来訪が想定されるため、平時における来館者への対応と同様に、市民等の受け入れ対応をお願いします。

なお、北九州市では、独自の取り組みとして、市内唯一の観測地点である「八幡」の暑さ指数の予測値が 35 に達する場合、熱中症特別警戒アラート（県内全域（12 地点）で暑さ指数の予測値が 35 に達する場合）が発表されない場合でも、同様にクーリングシェルターの開放を行いますので、ご対応をお願いします。

<参考1>クーリングシェルターの指定要件と効果

指定要件	①適当な冷房設備を有すること ②住民に開放可能な施設であること ③必要かつ適切な空間を有すること
効果	冷房の効いた施設など、暑さをしのげる場を確保することで、極端な高温時における熱中症による重大な被害の発生防止

<参考2>北九州市におけるクーリングシェルターの開放日

- ① 福岡県の熱中症特別警戒アラートの対象日
 - ② 八幡の暑さ指数の予測値が 35 に達する日
- ※施設の開館日時に応じて対応をお願いします（休館日、時間外の対応は不要です）
※これまでに、熱中症特別警戒アラートの発表基準を満たしたことはありません
※熱中症特別警戒アラートの発表対象期間は毎年4月下旬から10月下旬です

2 クーリングシェルター開放日の伝達方法

熱中症特別警戒アラートは、対象日前日の14時頃に環境省により発表されます。国による発表を受け次第、前日夕方頃までに環境局環境監視課から施設所管課経由で各施設にお知らせします。

なお、八幡の暑さ指数の予測値が 35 に達する場合にも、同様に前日夕方頃までに環境監視課から施設所管課経由で各施設にお知らせします。

3 クーリングシェルター開放日における市民等の受け入れ対応等

(1) 対応日時

熱中症特別警戒アラートの対象日、及び八幡の暑さ指数の予測値が 35 に達する日の施設開館時間に市民等の受け入れ対応をお願いします。開館時間外、休館日の対応は必要ありません。

(2) 市民等の受け入れ手順

- 施設に来訪した市民等を、各施設にて予め想定している、市民ホール等の受け入れスペースにご案内下さい。(通常の施設利用者は除く)
- 受け入れスペースには予め椅子をご用意いただき、適宜、市民等に利用のご案内をお願いします。
- 受け入れスペースが混み合う場合などにおいては、当日の施設の利用状況に応じて空き部屋を開放するなど、柔軟な対応をお願いします。
- 水分補給に必要な飲料水等は、原則ご自身で用意いただくよう予め周知しておりますが、市民等が水分の提供を求める場合には、お手数ですが、備え付けのウォータークーラーや給水栓を使用し、水分のご提供をお願いします。
(ご希望の方はマイカップ、マイボトルを持参するよう予め周知しております)

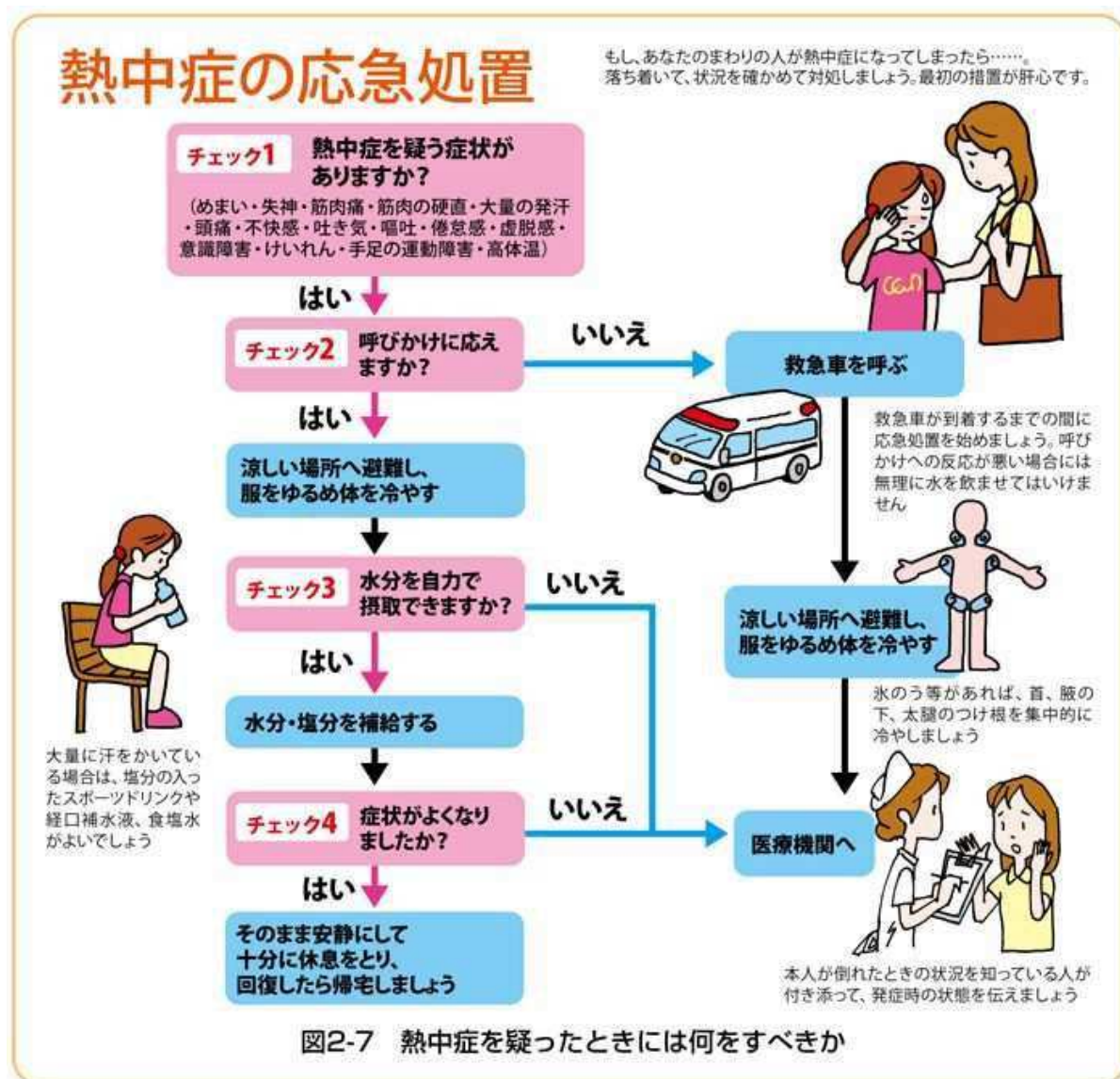
(3) 体調不良者への対応

来訪された市民等に対して、上記以外には、特段対応が必要な事項はありませんが、体調不良等が見られる方には、適宜声かけをお願いします。

その際に、声かけに反応がない場合や、市民等からの要請がある場合には、平時の緊急事態と同様に、救急へご連絡をお願いします。

なお、次項に「熱中症の応急処置（フロー図）」を記載しますので、フロー図に沿った対応をお願いします。

<参考3>熱中症の応急処置（フロー図）



出典：環境省「熱中症環境保健マニュアル2018」p.24

(4) 利用状況の把握

クーリングシェルターに関する今後の指定・運用等の参考とさせていただくため、避難目的で施設を訪問したと想定される大まかな市民等の人数把握について、以下の手順にてご協力をお願いします。

- クーリングシェルター利用者と通常の施設利用者を正確に見分けることが困難であることから、おおよその規模感の把握が目的です。そのため、クーリングシェルター利用者と思われる方について、幅広くカウントをお願いします
- 具体的には、予め想定している受け入れスペース（市民ホール等）の滞在者数を可能な範囲でカウントください（厳密に暑熱避難目的かどうかは問いません）
- また、空き部屋を開放いただいた場合は、その利用者数もカウントください
- 仮に、施設の利用状況が逼迫し、受け入れをお断りすることがあれば、その人数についても、併せてカウントをお願いします。

- クーリングシェルトの利用人数は、全施設の集計値を結果として活用させていただくため、個別施設ごとの利用人数を単独で取り扱うことはありません
- 利用人数については、クーリングシェルト開放日から 1 週間以内をめぐに各区単位で取りまとめのうえ、環境監視課までご報告をお願いします。

(5) 市民等からの問合せ対応

市民等からクーリングシェルトの混雑状況に関する問合せがある場合には、各施設で対応をお願いします。それ以外の熱中症に関する問合せがある場合には、以下のとおり各担当課にて対応いたしますので、問合せ内容に応じて、以下の担当課をご紹介します。

問い合わせ事項	担当課	電話番号
熱中症予防行動、健康相談	保健福祉局健康推進課	093-582-2018
	各区役所保健福祉課	093-331-1888 (門司区) 093-582-3440 (小倉北区) 093-951-4125 (小倉南区) 093-761-5327 (若松区) 093-671-6881 (八幡東区) 093-642-1444 (八幡西区) 093-871-2331 (戸畑区)
熱中症等による体調不良者の救急搬送	消防局 (救急)	119 番
それ以外の問合せ	環境局環境監視課	093-582-2290

(6) その他

クーリングシェルトの運用に係るご不明点につきましては、環境監視課までお尋ねください。なお、以下のとおり市民等の受け入れに関する Q & A を作成しておりますので、必要に応じてご活用ください。

<参考 4> 市民等の受け入れに関する Q & A

Q クーリングシェルト利用者の氏名や住所などは聞き取る必要はあるか。

A クーリングシェルト利用者に対して特別な対応を求めるものではないため、通常の施設利用者の氏名や住所を聞き取っていない場合は、個人情報保護の観点等も踏まえて、通常時に準じた対応で問題ないと考えております。

Q 体調が悪い人がいたらどうしたらいいか。

A まずは、声掛けをしていただければと思います。その際に、反応がない場合や、避難者から要請がある場合には、救急にご連絡をお願いします。もし、熱中症の症状が疑われる場合には、【＜参考３＞熱中症の応急処置（フロー図）】に沿った対応をお願いします。

Q クーリングシェルター利用者が殺到し、受け入れ可能人数を超えた場合はどうしたらいいか。

A まずは、空き部屋の開放などにより、可能な限り市民等の受け入れをお願いできればと考えております。その上で、施設の利用状況が逼迫し、受け入れが困難となる場合には、市民等にその旨を丁寧にご説明いただき、他のクーリングシェルター（近隣の市民センター）や最寄りの公共施設への訪問を促していただければと思います。

Q 閉館時間になってもクーリングシェルター利用者が施設に滞在している場合はどのようにしたらいいか。

A 通常の施設利用者と同様にご対応いただければと思います。なお、夜間の熱中症発症は、睡眠時に脱水症状に陥ることが主な要因とされているため、睡眠前にはこまめに水分を取るよう、お帰りの際に一言添えていただければ幸いです。